

在宅酸素療法時の喫煙に厚労省などが注意喚起 死亡事例77件の実態とは 439

2021年09月06日 18:01 [しらべえ](#)[つばやきを見る\(302\)](#) [日記を読む\(10\)](#) 限定公開(127)[チェックする](#)[つばやく](#)[日記を書く](#)[シェア](#)[LINEで送る](#)

厚生労働省によると今月1日時点で、新型コロナウイルス感染による自宅療養者は全国で13万5000人余り。東京都港区では往診した医師が「酸素投与が必要」と判断した場合に、保健所や業者がボンベを届ける事業を始めた。

そんな中、関係機関が在宅酸素療法の火気取り扱いについて注意喚起を実施中だ。

■ 酸素吸入中の喫煙厳禁

横浜市消防局はツイッター上に、「在宅酸素療法に使う酸素濃縮装置などの使用中は、装置の周囲2m以内には火気を置かないで下さい。特に酸素吸入中の喫煙は厳禁です」と動画付きで投稿。この動画は6日午後5時現在約133万回再生されている。



厚労省は、2003年から在宅酸素療法による火災発生件数のモニタリングを続けているが、2020年3月までに計88件の火災が発生し、77人が死亡している。その一番の原因は喫煙で35件（39.8%）。

[【動画】在宅酸素療法時の喫煙による火災を検証](#)

■ 周りの人もたばこ禁止

安全使用推進室の担当者は、「酸素吸入中は、患者はもちろん周りの人も絶対にたばこを吸ってはいけない」と話す。また、「そもそも肺を痛めている状態での喫煙は良くない」と語った。

**在宅酸素療法時は、
たばこ等の火気の取扱いにご注意下さい。**

酸素は、燃焼を助ける性質が強いガスであり、火を近づけると大変危険です。酸素濃縮装置等の使用中には、火気の取扱いにご注意下さい。

特に、喫煙に関連した火災事例が多く発生しています。患者はもちろんその周りの人も**酸素吸入中は、絶対にたばこを吸わないで下さい。**

※なお、酸素を吸っていない時にも、酸素の供給に際し、危険を伴って下さい。

③ 装置の使用中は、周囲2m以内に火気を置かないで下さい。

※禁煙 喫煙禁止

※火気厳禁

酸素濃縮装置等は、正しく使用すれば安全な装置です。医師の指示を守って、安心して治療を受けて下さい。また、治療を受けている患者へのご理解を宜しくお願いいたします。

(参考) ○PMDA医療安全情報No.4「在宅酸素療法時の喫煙などの火気取扱いの注意について」
 (URL) https://www.pmda.go.jp/ajacnet/ajacnet_ajacnet04.pdf
 ○一般消費者向け 日本酸素 喫煙が危険なホームページ
 (URL) <https://www.jimma.co.jp/medical/special/dv0011.htm>
 ○神戸市消防局ホームページ「在宅酸素療法中の火気危険について」
 (URL) <http://www.city.kobe.lk.jp/safety/fire/information/zaitakuo2.htm>

厚生労働省
 011-6543-1111(内線)
 011-6543-1111(代番)
 厚生労働省ホームページへアクセス
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/>

■ 周囲2メートル以内火気厳禁

酸素供給装置が直接の火災原因になったことはないが、こたつや電気ストーブが原因となった火災は発生している。担当者は「酸素は燃焼を助ける性質が強いガス。装置の使用中は周囲2メートル以内に火気を置かないことが必要だ」と述べた。

最後に「酸素濃縮供給装置は、正しく使用すれば安全な装置。火気の取り扱いに注意し、取扱説明書通りに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服などが燃えたりして火災になることはない。過度に恐れることなく、医師の指示通りに行ってほしい」とアドバイス。

■ 在宅酸素療法での火災

【自宅療養中の皆様は要注意！】在宅酸素療法に使う酸素濃縮装置等の使用中は、装置の周囲2m以内には火気を置かないで下さい。特に酸素吸入中の喫煙は厳禁です。 <https://t.co/EQwxdGwse1> #横浜市消防局 #火災予防 pic.twitter.com/YgBNjFxFy

— 横浜市消防局【公式】 (@YOKOHAMA_FIRE_B) August 27, 2021